

青森県立美術館 映画上映

10TH

青森県立美術館  
AOMORI MUSEUM OF ART

特集 川島雄三



『幕末太陽傳』 © 日活

『お嬢さん社長』

『幕末太陽<sup>でん</sup>傳』

『縞の背広の親分衆』

2016  
11 / 26・27  
土 日

青森県立美術館シアター



芸術文化振興基金助成事業

主催:青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会/青森県立美術館 助成:芸術文化振興基金 上映協力:松竹(株)/東宝(株)/日活(株)/青森映研



## お嬢さん社長 ©1953 松竹株式会社

(1953年 / 93分 / 白黒 / 16mm フィルム上映)  
出演 / 美空ひばり、市川小太夫、坂本武、桂小金治 他  
監督 / 川島雄三

“日本一乳業”の雷社長・重三郎(市川小太夫)も持病には勝てず、遂に社長の椅子を孫娘のマドカ(美空ひばり)に一任する。マドカは歌が好きなまだ16歳の少女で、スターを夢みるせいか、周囲が心配するほど全く仕事に乗気ではなかった。ある日、自社のお菓子が不正に横流しされていることを知り…。



## 川島雄三 かわしまゆうぞう

青森県むつ市出身。『還って来た男』(1944)で監督デビュー。『お嬢さん社長』(1953)、『東京マダムと大阪夫人』(1953)など軽妙な喜劇を中心に異彩を放ちつつ、『洲崎パラダイス 赤信号』(1956)など深化した人間観察による秀作で名を馳せた。陽性の主人公にニヒリズムを漂わせた『幕末太陽傳』(1957)は現在も最高傑作として名高い。その後も『貸間あり』(1959)、『縞の背広の親分衆』(1961)、『雁の寺』(1962)など多彩な作品を発表。監督昇進の頃から筋萎縮性側索硬化症を発症し、45歳で逝去。



## 幕末太陽傳 でん ©日活

(1957年 / 110分 / 白黒 / 35mm フィルム上映)  
出演 / フランキー堺、南田洋子、左幸子、石原裕次郎 他  
監督 / 川島雄三

時は、幕末。東海道品川宿にある遊郭へ現れた佐平次(フランキー堺)は、懐は無一文ながらも呑めや歌えの大騒ぎ。その後、都合よく遊郭に居ついた佐平次は、持ち前の機転で女郎や客たちのトラブルを次々と解決し、遊郭に出入りする高杉晋作(石原裕次郎)らとも交友を紡ぐのだったが…。



## 縞の背広の親分衆 ©1961 東宝

(1961年 / 91分 / カラー / 35mm フィルム上映)  
出演 / 森繁久彌、フランキー堺、淡島千景、団令子 他  
監督 / 川島雄三

守野圭助(森繁久彌)は、元・おとり組の兄分だったが勘違いから逃避行を企て南米から15年ぶりに日本に戻った。しかし、組も今や没落寸前、新興の組に荒らされている始末。今の組を辛うじて支えているのは、死んだ大親分の女房(淡島千景)と、住職(フランキー堺)の2人だけだった…。

# 11/26 (土)

10:10 - お嬢さん社長

12:30 - 幕末太陽傳

14:50 - 縞の背広の親分衆

# 11/27 (日)

10:10 - 幕末太陽傳

12:45 - 縞の背広の親分衆

14:50 - お嬢さん社長

### ■前売料金

1日券・・・1,000円

日時指定で当日の全作品をご覧ください。当日200円増し。

ラスト1本割引・・・500円均一

日時指定で各日の最終回上映のみご覧いただけます。

### 「通し券」で無料!

11月18日～20日開催「特集・川島雄三と岡本喜八」の通し券をご購入された方は、3作品を無料でご覧いただけます。

### ■チケット予約方法 (電話・FAX・Eメール)

下記の事務局にて、チケットのご予約が可能です。

- (1) 予約者の氏名・連絡先
  - (2) 希望の上映日・券種・鑑賞人数
- をお申し付け下さい。

※予約受付は、各上映前日の17時まで。プレイガイド販売なし。

### ■予約受付・お問い合わせ先

青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会 事務局

TEL 017-783-5243 (平日9時～17時)

FAX 017-783-5244

MAIL eiga@aomori-museum.jp

※個人情報は厳重に管理し、本上映会以外の目的では使用いたしません。

青森県立美術館 (青森県青森市安田字近野 185)

アクセス: ●JR新青森駅のルートバスねぶたん号「新青森駅東口」バス停から乗車、「県立美術館前」下車(所要約10分) ●青森駅の青森市営バス「青森駅前6番」バス停から「三内丸山遺跡」行きに乗車、「県立美術館前」下車(所要約20分) ●東北縦貫自動車道青森IC.から車で約5分 ●青森自動車道青森中央IC.から車で約10分 (八戸方面から)